

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度(2020年度)	授業科目	環日本海諸国語Ⅳ(ロシア語)
科目基礎情報					
科目番号	0051	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	国際ビジネス学科	対象学年	2		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	『ロシアの季節』その他、別途指示する				
担当教員	山本 有希				
到達目標					
(1)アルファベットの読み書きを修得する (2)名詞等の性数変化、動詞人称変化及び動詞の体の概念を理解する (3)単位認定には60点以上を必要とする					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	名詞格変化、運動の動詞及び動詞の体といった項目を活用した口頭表現がスムーズにできる。	名詞格変化、運動の動詞及び動詞の体といった項目を活用した口頭表現ができる。	名詞格変化、運動の動詞及び動詞の体といった項目を活用した口頭表現が満足にできない。		
評価項目2	上記文法事項を活用した口頭表現の発表がスムーズにできる。	上記文法事項を活用した口頭表現の発表ができる。	上記文法事項を活用した口頭表現の発表が満足にできない。		
評価項目3	上記文法事項を活用したテキストをスムーズに抑揚をつけて音読することができる。	上記文法事項を活用したテキストを音読することができる。	上記文法事項を活用したテキストを満足に音読することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー 3					
教育方法等					
概要	【授業の目標と概要】 (目標) ロシア語の音読や会話を中心に、広くロシア社会・文化等への関心を養う。 (概要) ロシア文字の発音、名詞・形容詞等の性数変化、動詞の現在人称変化を用いた表現を修得する				
授業の進め方・方法	教員単独による講義と演習				
注意点	(授業改善策) 学生の理解度を確認しながら授業を進めるよう努める。 評価が60点に満たない者は、願出により追認試験を受験することができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者については、その評価を60点とする。 (備考) 1)遅刻3回で欠課1時間とする 2)授業計画は、学生の理解度に応じて変更することがある				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス他	1)シラバスの説明 2)既習事項の復習	
		2週	第24課 動詞「食べる、飲む」 第25課 形容詞の対格	動詞、形容詞の対格の用法を理解する	
		3週	第26課 動詞「着用する」	動詞、形容詞の対格の用法を理解する	
		4週	第27課 -овать動詞 第28課 形容詞の前置格	形容詞の前置格形の用法を理解する	
		5週	第29課 運動の動詞①	運動の動詞の用法を理解する	
		6週	第29課 運動の動詞②	運動の動詞の用法を理解する	
		7週	第30課 運動の動詞③	運動の動詞の用法を理解する	
		8週	中間試験	既習事項の確認を行う	
	2ndQ	9週	試験返却および解説	試験問題の解説及び点数の確認を行う	
		10週	第31課 -ся動詞の用法	-ся動詞の用法を理解する	
		11週	第32課～34課 生格の用法	生格の用法を理解する	
		12週	第32課～34課 生格の用法	生格の用法を理解する	
		13週	第35課～36課 運動の動詞④	運動の動詞の用法を理解する	
		14週	第35課～36課 運動の動詞⑤	運動の動詞の用法を理解する	
		15週	期末試験	既習事項の確認を行う	
		16週	成績確認	成績評価の確認を行う	
後期	3rdQ	1週	第38課 形容詞の生格	形容詞の生格の用法を理解する	
		2週	第39課 対格及び関係代名詞	活動体の対格及び関係代名詞の用法を理解する	
		3週	第41課～第43課 動詞の体	動詞の体の用法を理解する	
		4週	第41課～第43課 動詞の体	動詞の体の用法を理解する	
		5週	第41課～第43課 動詞の体	動詞の体の用法を理解する	
		6週	第44課 名詞の与格	与格の用法を理解する	
		7週	第45課～46課 無人称文	無人称文の用法を理解する	
		8週	中間試験	既習事項の確認を行う	
	4thQ	9週	試験返却および解説	試験問題の解説及び点数の確認を行う	
	10週	第47課 運動の動詞と与格	与格の用法を理解する		

	11週	第50課 名詞の造格	造格の用法を理解する
	12週	第51課 形容詞の造格	造格の用法を理解する
	13週	第52課 運動の動詞⑥	運動の動詞の用法を理解する
	14週	第53課 運動の動詞⑦	運動の動詞の用法を理解する
	15週	期末試験	既習事項の確認を行う
	16週	成績確認	成績評価の確認を行う

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0